



The 20th Annual Meeting of  
Japanese Academy of Sports Dentistry

# 第20回 日本スポーツ歯科医学会 総会・学術大会

スポーツ歯科医学のストラテジー  
— 第20回学術大会を迎えて —

会期 ◆ 2009年 7月4日(土)・5日(日)

会場 ◆ 大宮ソニックシティ

大会長 ◆ 安井 利一 明海大学歯学部 社会健康科学講座 教授

共催 ◆ 第9回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会

後援 ◆ 社)日本歯科医師会 社)日本歯科衛生士会 社)日本歯科技工士会  
社)日本学校歯科医会 社)埼玉県歯科医師会

公開講座：共催 社)埼玉県歯科医師会

第2回彩歯健康アカデミー

# 第20回 日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 プログラム・抄録集

メインテーマ

## スポーツ歯科医学のストラテジー

— 第20回学術大会を迎えて —

大会長 ◆ **安井 利一** 明海大学歯学部 社会健康科学講座 教授

副大会長 ◆ **井坂 義昭** 社団法人 埼玉県歯科医師会 会長

会 期 ◆ 2009年 7月4日(土)・5日(日)

会 場 ◆ **大宮ソニックシティ**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5  
TEL:048-647-4111

総合受付	ソニックシティホール2階 小ホールホワイエ
メイン会場	ソニックシティホール2階 小ホール
ポスター会場	ソニックシティビル地下1階 展示場
SHP 会場	ソニックシティビル4階 市民ホール
公開講座	ソニックシティビル4階 市民ホール
企業展示	ソニックシティビル地下1階 展示場
合同懇親会	パレスホテル大宮 ローズルーム

### 大会事務局

---

明海大学歯学部社会健康科学講座内  
第20回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会事務局  
〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台 1-1  
TEL:049-279-2786 FAX:049-286-2343  
E-mail:jasd20@dent.meikai.ac.jp

## 第20回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 開催にあたって



日本スポーツ歯科医学会・理事長  
第20回学術大会・大会長 安井 利一

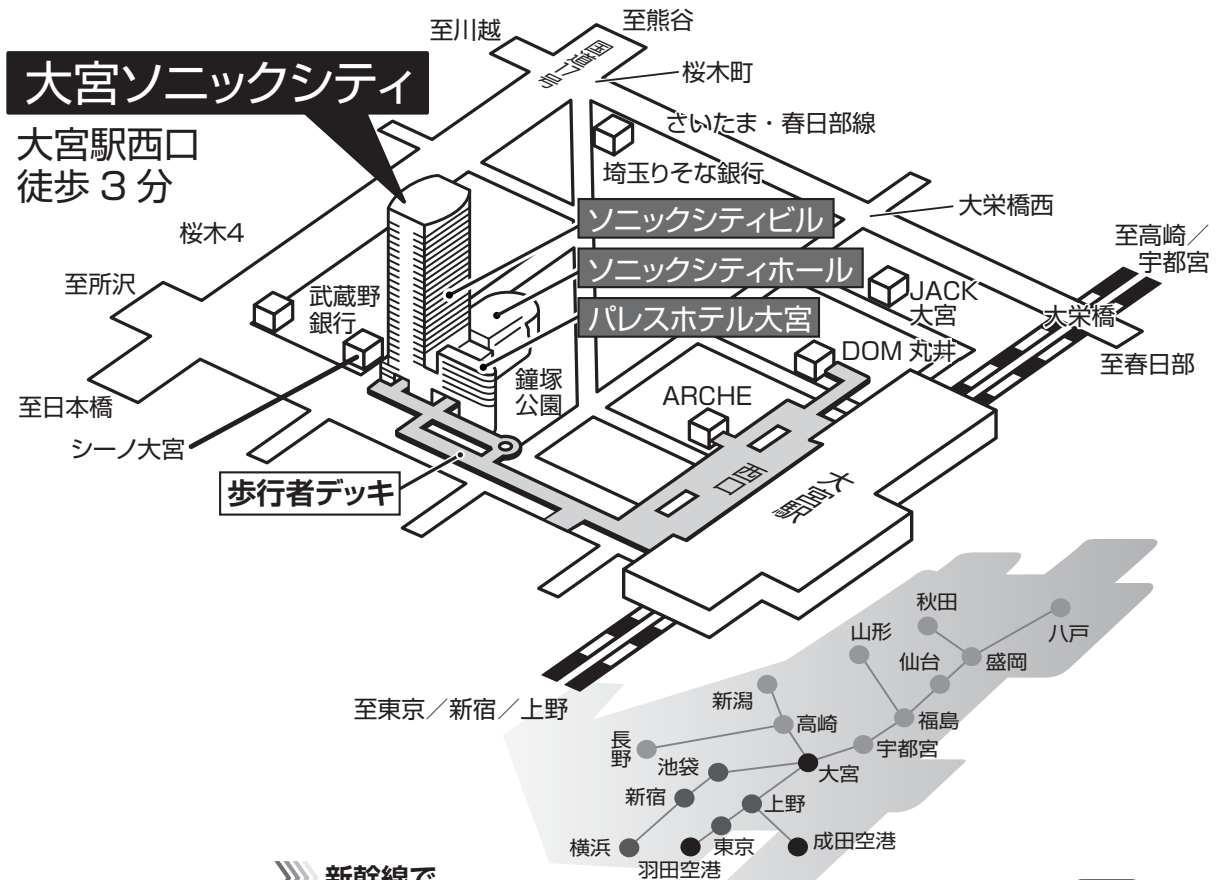
日本スポーツ歯科医学会会員の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたしております。1990年に我が国で初めて「スポーツ歯学研究会」として産声を上げてから19年が経ちました。この間、多くの会員の皆様に学会活動を盛り上げていただき、昨年は学会としても目標としていました日本歯科医学会認定分科会としての参加と英文雑誌の発刊を達成することができました。本会会員も順調に増加しており現在959名になっております。このように、学会活動が活発になってきておりますことは、偏に会員の皆様のお蔭であると存じております。

さて、第20回の学会総会・学術大会を埼玉県さいたま市で私自身が学術大会長となって開催することとなりました。

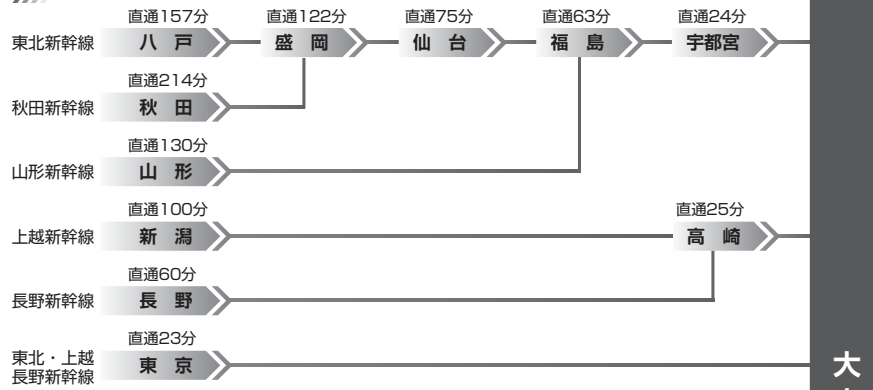
20回という節目に当たり、今後の本学会の活動指針を皆様と一緒に考えてみようということで、メインテーマを「スポーツ歯科医学のストラテジー」とさせていただきます。スポーツ歯科医学は、国民のスポーツを通じての健康づくり支援、スポーツ外傷予防支援、そしてスポーツパフォーマンスの維持向上などを追及してまいりました。そのことを踏まえて、特別講演には国立健康・栄養研究所の田畑 泉先生に「メタボリックシンドローム解消のためのエクササイズガイド2006」についての講演をお願いしました。教育講演Ⅰには本学会の重鎮でもある竹内正敏先生に「スポーツ歯科最前線」というテーマでスポーツ歯科医としての視点から講演をしていただくことと致しました。また、本学術大会では、新しい企画として、既に本学会の認定医になっておられる先生方へのアドバンス研修(教育講演Ⅱ)を実施することとしました。元文部科学省体育官の戸田芳雄先生に「安全」に対する講演をお願いしております。もちろん、認定医以外の皆様も参加できますので、奮って御参加ください。また、本学会は、これまでどおりに日本スポーツ・健康づくり歯学協議会(SHP)と同時に開催を致します。「臨学一体」の私たちの提唱してきた姿は、我が国の歯科医療の基盤として定着してきたのではないのでしょうか。今回も、埼玉県歯科医師会の井坂義昭会長を始め、県歯科医師会の先生方に多大なご支援を戴きました。この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。この臨学一体からさらに一歩進めて、デンタルチームとしてのスポーツ歯科を目指して、今回は、シンポジウムに日本歯科医師会、日本歯科技工士会、日本歯科衛生士会の代表をお招きし、そして韓国のスポーツ歯科医学会から Hoon Chung 先生を加えて討論を行うこととしました。スポーツ歯科医学を通じて、また、新たな展開を求めていきたいと思っております。



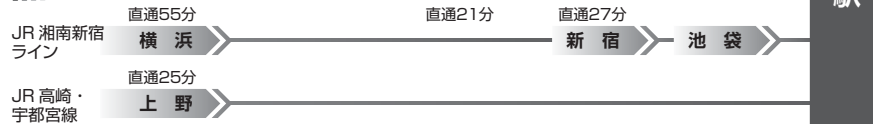
## 会場への交通案内



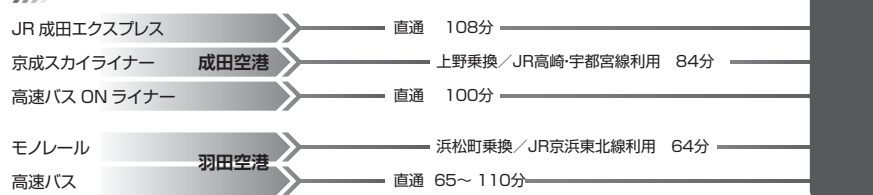
### 新幹線で



### 在来線で



### 在来線で



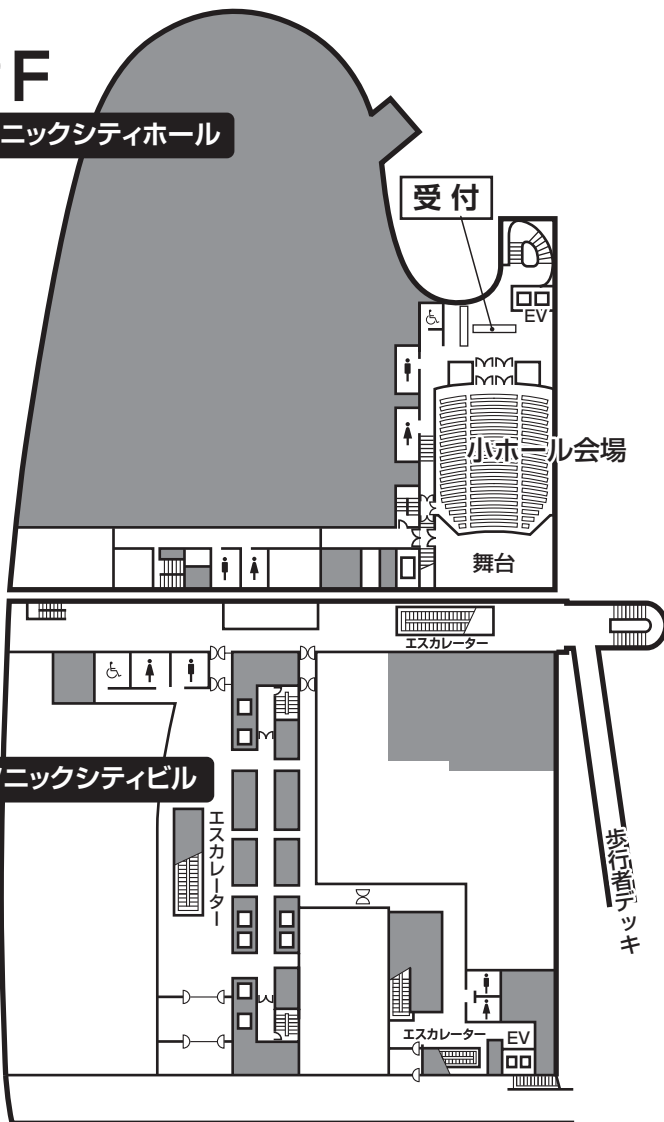
●お車でお越しの場合 首都高速道路埼玉大宮線 [新都心西IC] より 1km

●駐車場 ソニックシティ地下駐車場……30分 / 200円 利用時間 / 7:00~23:00

## 会場案内図

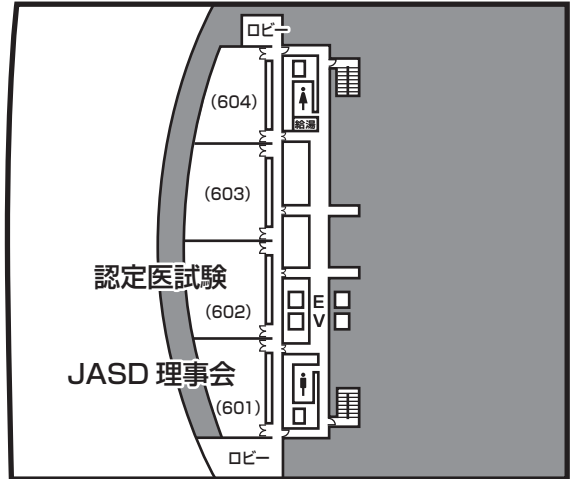
**2F**

ソニックシティホール



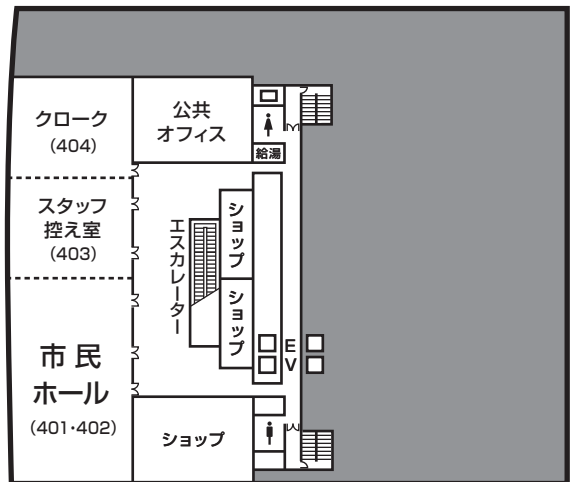
**6F**

ソニックシティビル



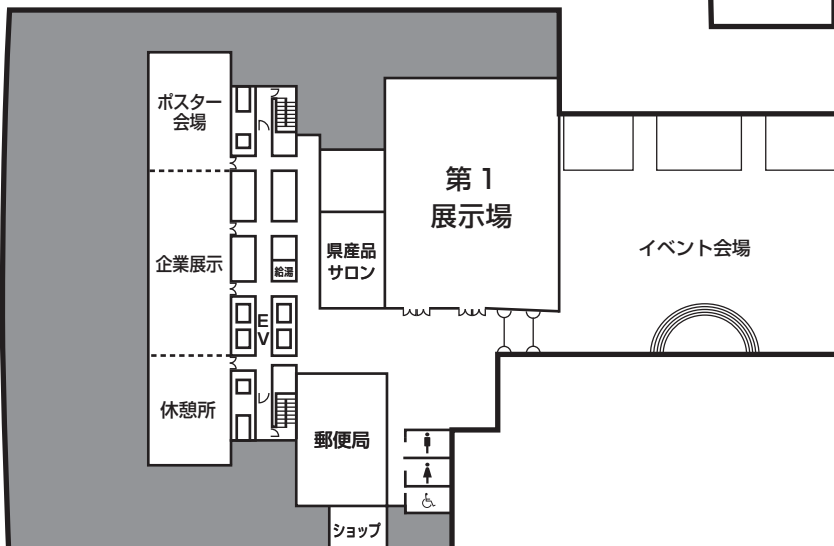
**4F**

ソニックシティビル



**B1F**

ソニックシティビル





## 日 程 一 覧

### 平成21年7月3日 金

12:30～13:30	認定医試験	ソニックシティビル 6階 会議室
14:00～15:00	JASD 理事会	ソニックシティビル 6階 会議室
15:00～16:00	JASD 評議員会	ソニックシティビル 6階 会議室
16:00～17:00	日歯 SHP JASD 合同カンファレンス	パレスホテル大宮

### 平成21年7月4日 土

9:00～12:00	認定医研修会	ソニックシティホール 2階 小ホール
9:30～10:30	SHP 幹事会	ソニックシティビル 4階 市民ホール
10:30～12:00	SHP 協議会	ソニックシティビル 4階 市民ホール
12:00～13:15	ポスター掲示	ソニックシティビル 地下1階 展示場
13:00～13:15	開会式	ソニックシティホール 2階 小ホール
13:15～14:15	特別講演	ソニックシティホール 2階 小ホール
14:00～16:00	公開講座 第2回彩歯健康アカデミー	ソニックシティビル 4階 市民ホール
14:20～15:20	教育講演 I	ソニックシティホール 2階 小ホール
15:30～16:15	教育講演 II	ソニックシティホール 2階 小ホール
16:20～17:00	JASD 総会	ソニックシティホール 2階 小ホール
17:15～18:15	日本歯科医学会長懇談会	ソニックシティビル 4階 市民ホール
18:30～20:30	合同懇親会	パレスホテル大宮 ローブルーム

### 平成21年7月5日 日

9:00～12:00	一般口演	ソニックシティホール 2階 小ホール
12:00～13:00	ランチョンセミナー	ソニックシティビル 4階 市民ホール
13:15～14:15	ポスター討論	ソニックシティビル 地下1階 展示場
14:30～16:30	シンポジウム	ソニックシティホール 2階 小ホール
16:30～	閉会式	ソニックシティホール 2階 小ホール

# 日 程 表

	7月3日 金	7月4日 土			7月5日 日		
	6F会議室	小ホール	市民ホール	展示場	小ホール	市民ホール	展示場
9:00							
10:00		認定医 研修会	SHP 幹事会		一般口演		ポスター 発表
11:00			SHP 協議会				
12:00							
13:00	認定医試験	開 会		ポスター 掲 示		ランチョン セミナー	
14:00		特別講演					ポスター 討 論
15:00	JASD 理事会	教育講演Ⅰ	公開講座 第2回 彩歯健康 アカデミー	ポスター 発 表			ポスター 発 表
	JASD 評議員会	教育講演Ⅱ				シンポジウム	
16:00	日歯 SHP JASD 合同 カンファレンス	JASD総会					
17:00					閉 会		
18:00			日本歯科 医学会長 懇談会				
		合同懇談会(パレスホテル)					



## 参加者へのご案内とお願い

- 4日は午後12時から、5日は午前8時30分からソニックシティホール2F 小ホールホワイエにて受付を開始します。
- 参加証には所属、氏名を記入の上、学会期間中必ず着用してください。参加証を着用していない方の入場はお断りいたします。
- 未入会の方は入会金3,000円、年会費10,000円を納めてください。
- クロークはソニックシティビル4Fにあります。
- 学会係員はスタッフと書いた名札を付けておりますので、何かありましたらお申し出ください。

## 一般口演の方へ

- 発表者、共同研究者ともに会員に限りますので未入会の方は入会手続きを行ってください。入会されない場合には事後抄録に名前は掲載されません。
- 発表方法はPCのみです。
- 発表者は第1日目(7月4日)に会場のPC受付までお越しの上、動作確認をお願いいたします。
- PCは学会事務局にて準備いたしますので持ち込みは結構です。CD-ROMあるいはDVD-ROMでご用意下さい。
- OSはWindows XPをご使用ください。使用ソフトはMicrosoft Office PowerPointで作製してください。
- 動画(アニメーションは含まない)やサウンドを使用する場合は、その旨をPC受付時にお知らせください。
- PC操作は発表者自身で行っていただきます。
- スクリーンは1面です。
- 口演時間は8分、質疑応答は2分です。座長の指示のもと時間を厳守してください。
- 発表後は事後抄録を受付に提出してください。

**ICカードを必ずご持参下さい**

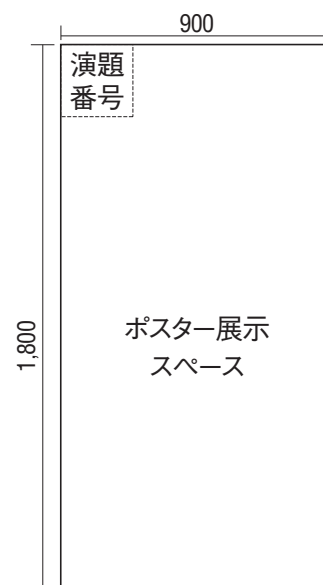
日本歯科医師会会員の皆様へ

日歯生涯研修事業では、配布されたICカードをカードリーダーにタッチするだけで簡単に単位登録ができます。大会参加の際にはICカードを必ずお持ちください。

なお、ICカードをお忘れになった先生は、自分で単位登録しなければなりません。

## ポスター発表の方へ

- 発表者、共同研究者ともに会員に限りますので、未入会の方は入会手続きを行ってください。入会されない場合には事後抄録に名前は掲載されません。
- ポスター発表では縦1,800mm、横900mmのボードを用意します。
- ボードに演題番号を記載いたしますので、その下にポスターを貼り付けてください。
- ポスターの掲示は4日午前12時～午後1時15分の間に行ってください。
- ポスターの貼付はご自身で用意されたピン等をお使いください。
- 発表時間は、質疑応答を含めて5分です。座長の指示のもと時間を厳守してください。
- ポスターの撤去は5日午後3時までに行ってください。
- 発表後は事後抄録を受付に提出してください。



## 事後抄録

- 一般口演およびポスター発表の演者の先生は受付に事後抄録を提出してください。
- 当日事後抄録を提出されませんと、学会誌に抄録が掲載されず、業績とは認められなくなります。
- 抄録はA4用紙に作成してください。1枚目に演題番号、演題名、所属、演者名(発表者に○)を、2枚目以降に内容抄録(1,000字以内)を記載してください。プリントアウト原稿とともにWindows版Microsoft Office Wordで入力したファイルをCD-ROMあるいはDVD-ROMで提出してください。
- 本文構成は原則として、目的、方法、結果、考察の順とし、参考文献および図表は含まないでください。
- 詳しくは学会誌綴じ込みの事後抄録記載例を参照してください。

## 座長の先生へ

- 座長の先生は座長受付で座長登録をお済ませ下さい。
- セッション開始予定の10分前までに会場内の「次座長席」にご着席ください。
- 各セッションの進行はお任せいたしますが、担当時間内に終了するようお願いいたします。

# プログラム

## 7月4日 日

**特別講演** 13:15～14:15

会場：ソニックシティホール 小ホール

座長：安井 利一 明海大学歯学部 社会健康科学講座 教授

### メタボリックシンドローム解消のためのエクササイズガイド2006

田畑 泉 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム プログラムリーダー

**教育講演Ⅰ** 14:20～15:20

会場：ソニックシティホール 小ホール

座長：前田 憲昭 医療法人 社団皓歯会 理事長

### スポーツ歯科最前線 — そこで見たこと聞いたことそして分かったこと —

竹内 正敏 タケウチ歯科クリニック 院長

**教育講演Ⅱ** 15:30～16:15

会場：ソニックシティホール 小ホール

座長：藤居 正博 社団法人 日本学校歯科医会 常務理事

### 安全文化の創造と学校における安全教育

戸田 芳雄 浜松大学健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 教授  
日本安全教育学会理事長

**公開講座 第2回彩歯健康アカデミー** 14:00～16:00

会場：ソニックシティビル4F 市民ホール

### 救急医からの「いのちの教育の提言」

田中 秀治 国士舘大学院救急救命システムコース 主任 教授

## プログラム 7月5日 回

ランチョンセミナー 12:00～13:00

会場：ソニックシティビル4F 市民ホール

### 外傷脱落歯と歯根膜の保存

中川 寛一 東京歯科大学 歯科保存学講座

シンポジウム 14:30～16:30

会場：ソニックシティホール 小ホール

コーディネーター：安井 利一 明海大学歯学部 社会健康科学講座 教授

### 【 スポーツ歯科医学のストラテジー 】

#### S-01 歯科医師会の立場から

箱崎 守男 日本歯科医師会

#### S-02 歯科衛生士の役割

松木 一美 (社)日本歯科衛生士会

#### S-03 歯科技工士の立場から

村松 仁志 社団法人 日本歯科技工士会 認定講師  
かながわスポーツ・健康づくり歯学協議会 学術常務理事  
NPO 法人 かながわ健康づくり歯科ネットワーク 理事長

#### S-04 The State of Korea's Sports Dentistry -In particular on temporomandibular disorders and sports dentistry-

Hoon Chung, DDS, PhD.

President of Korean Association for Temporomandibular Joint Corporation  
President elect of Korean Academy of Sports Dentistry

特別講演

教育講演

公開講座

ランチョンセミナー

シンポジウム



## 特別講演



# メタボリックシンドローム解消のための エクササイズガイド2006

田畑 泉 独立行政法人 国立健康・栄養研究所  
健康増進プログラム プログラムリーダー

厚生労働省は、平成18年に“健康づくりのための運動指針2006(エクササイズガイド2006)”を発表した。エクササイズガイド2006は、“健康づくりのための運動基準2006”により明らかとなった“生活習慣病の発症予防に必要な身体活動・運動”を、国民が自ら健康づくりのため行うための指導書となっている。

具体的には、“週23エクササイズの活発な身体活動(運動・生活活動)を!! そのうち4エクササイズは活発な運動を!!”というようなスローガンにより、行うべき身体活動量・運動の内容を国民にわかりやすく伝えることとしている。エクササイズとは身体活動量・運動量の単位で、身体活動・運動の強度の指標のメッツ(Metabolic equivalent)に運動時間(時間)を掛けたもの(メッツ・時と等価)である。1エクササイズは普通歩行、洗車、屋内の掃除では20分、はや歩き、雪かきでは15分、重いものの持ち運びは7分程度の身体活動量である。運動としては、ボーリングでは20分、ジャズダンスなどは15分程度、ジョギングで9分程度の身体活動量である。

国民が、通勤時の歩行、ボランティア活動、洗車などの生活活動を生活の中に積極的に取り入れたり、休日に運動を行ったりして、その合算が週に23エクササイズとなれば、糖尿病などの生活習慣病の発症が予防されることが期待される。また、メタボリックシンドロームの予防についても、その効果が期待されている。

一方、メタボリックシンドロームの解消には、週当たり10エクササイズ以上の運動を習慣的に行うことにより腹囲の減少が期待できることも示した。これは速歩(4メッツ)を週2時間半あるいは1日3,000歩の歩数の増加とほぼ等しい運動量である。また、エクササイズガイド2006には、運動による消費エネルギー増加と食事の改善によるエネルギー摂取量の低下を併用して、一定の体重を減少させ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪量症候群)を解消する方法を示した。つまり、体重1kgの減少に約7,000kカロリーのエネルギーの負の収支が必要となることから、例えば月に1kg減量するためには1日当たり230kカロリー運動によるエネルギー消費量増加と摂取エネルギー消費量の減少を奨めることなどである。

エクササイズガイド2006が普及定着し、国民が、これらの身体活動量、運動量を行えば、確実に生活習慣病が2割程度抑制される。またメタボリックシンドロームが解消されます。皆様、ぜひ、新しい健康づくりのためのエクササイズガイド2006の普及定着にご協力下さい。

#### 経 歴

昭和55年(1980)3月	東京大学教育学部体育学・健康教育学科体育学専攻課程卒業
昭和55年(1980)4月	東京大学大学院教育学研究科体育学専攻修士課程入学
昭和57年(1982)3月	同 修了
昭和57年(1982)4月	東京大学大学院教育学研究科体育学専攻博士課程入学
昭和58年(1983)4月	ノルウェー国立筋生理学研究所客員研究員
昭和60年(1985)3月	同 終了
昭和61年(1986)3月	東京大学大学院教育学研究科体育学専攻博士課程中途退学
昭和61年(1986)4月	鹿屋体育大学体育学部 助手
平成4年(1992)10月	国立健康・栄養研究所 健康増進部 運動生理研究室 室長
平成11年(1999)4月	鹿屋体育大学体育学部スポーツ科学講座 教授
平成14年(2002)4月	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部 運動生理・指導研究室長
平成15年(2003)4月	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長
平成18年(2006)4月	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム プログラムリーダー(現在に至る)
平成15年度～平成16年度	厚生労働省 日本人の栄養所要量－食事摂取基準－策定委員会 委員及びエネルギーワーキンググループ取りまとめ
平成17年度	厚生労働省 運動所要量・運動指針の策定検討委員会 委員 同 運動所要量ワーキンググループ 座長 同 運動指針小委員会 委員
平成20年度	厚生労働省 日本人の食事摂取基準策定委員会委員 同エネルギーワーキンググループ構成員及びリーダー
平成17年度	健康づくりのための運動指導者普及定着方策検討委員会 (健康・体力づくり事業財団) 委員長
平成20年度	健康運動実践指導者のあり方に関する検討専門会議 (健康・体力づくり事業財団) 議長
平成2年(1990)5月～平成3年(1991)6月	文部省在外研究員(米国ワシントン大学医学部)
平成5年(1993)3月	博士(教育学)授与



一般口演

ポスター発表



## 0-01

## 第19回世界空手道選手権の大会救護に関する調査報告

Survey on the First Aid Station in The 19th World Karate Championships

○松原 由佳<sup>1)</sup>、鈴木 浩司<sup>1)</sup>、青野 寛史<sup>1)</sup>、渡邊 愛斗<sup>1)</sup>、片山幸太郎<sup>2)</sup>、糸賀 裕<sup>2)</sup>、赤平 亘彌<sup>2)</sup>、永田 勝秀<sup>2)</sup>、五十嵐富士美<sup>3)</sup>、Soon-Gill Lim<sup>2)</sup>、川良美佐雄<sup>1)</sup>

Yuka Matsubara, Hiroshi Suzuki, Hiroshi Aono, Aito Watanabe, Kotaro Katayama, Hiroshi Itoga, Nobuya Akahira, Katsuhide Nagata, Fujimi Igarashi, Lim Soon-Gill, Misao Kawara

<sup>1)</sup> 日本大学松戸歯学部 口腔機能学講座、<sup>2)</sup> 陸上自衛隊歯科医官、<sup>3)</sup> 歯科衛生士、

<sup>4)</sup> Department of Physical Education, Yong In University

## 【緒 言】

これまで演者らは、全日本空手道選手権から国体、インターハイの空手道部門等様々な大会で救護を担当し、現場での応急処置から救急搬送等の対応などを経験している。今回、第19回世界空手道選手権が日本で開催され、(財)全日本空手道連盟内に組織された大会実行委員会の中で救護部門とドーピング部門を担当することになった。そこで、大会救護のシステム、活動の様子を報告するとともに、スポーツデンティストの果たす。

## 【概 要】

昨年の11月13日から4日間、日本武道館において世界空手道選手権が開催された。今や空手道はオリンピックを目指す競技にまで成長し、競技人口は175の国や地域にて、6,000万人にも上っているが、今回120ヶ国で選抜された1,200人のトップアスリートが熱戦を繰り広げた。また、本大会は世界空手道連盟(WKF)主導のもと実行委員会に指示が出され、救護部門にも Medical Chairman より会場設営から救急処置の内容に至るまで指示があった。併せて今回は、大会終了後、救護所を訪れた総人数、受傷部位別内訳、処置別内訳等を集計した。

## 【結果及び考察】

日本武道館には4面のコートを設置し、各コートに救護テーブルを作り、日本人医師、歯

科医師と看護師が常駐し、試合中の脳震盪、鼻出血、口唇裂傷、打撲等の応急処置にあたった。日本武道館は建築上コートと救護室までの導線が長いため、中間に救護コーナーを作り、日本人と外国人の Medical staff が選手、関係者の救急処置から体調管理の相談等を請け負った。縫合、整復等の処置が必要な重症者は後方の救護室に運び、処置を行った。4日間の大会期間中延べ199名の選手が救護所を訪れた(対診せず氷やテーピングを取りに来た者は含んでいない)。部位別では鼻部の出血が最も多く、次いで顔面、口唇裂傷が上位を占めた。口腔内の処置が必要な者は8名であった。処置別では打撲に対するアイシングや、鼻出血に対するタンポナーゼが多く、重傷による救急搬送は4名であった。今回は歯科医師主導のもとに医師と協力して救護活動を行った。医師の果たす役割は当然多いものの、空手道において最も多い顎顔面口腔周囲の外傷処置には歯科医師の積極的な対応が求められた。スポーツ救護の現場で歯科医師が活躍する場面は多く、この点からもスポーツデンティストの幅広い育成が必要と思われる。

## 0-02

## 社会人トップの選手に対するマウスガードのアンケート調査

## Survey of Mouthguard Usage Amongst Outstanding Non-League Rugby Players

○南部 貴志、中北 清吾、洪里 周作、島田 茂、添田 義博、三村 義昭、川原 大

Takashi Nambu, Seigo Nakakita, Syusaku Kohri, Shigeru Shimada, Yoshihiro Soeda, Yoshiaki Mimura, Dai Kawahara

臨床器材研究所

## 【目 的】

ラグビー選手に対するMGに関するアンケート調査は数多く報告されている。我々も、高校生ラグビー選手へのMGに関するアンケート調査、クラブチーム選手へのMGに関するアンケート調査を報告してきた。しかしながら、社会人の選手に対する報告は少なく、調査対象人数も少数である。関東医歯薬リーグや高校生においてMGの装着が義務化されてきていることを考えると、最上級の選手層である社会人選手のMGに関する意識調査や意見調査は、MGの普及並びに質の向上において不可欠なものと思われる。そこで今回我々は、社会人のトップ選手に対するMGに関するアンケート調査を行ったので報告する。

## 【方 法】

トップリーグチーム(近鉄ライナーズ)とトップウエストAチーム(NTTドコモレッドハリケーンズ)合計92名の選手にアンケート調査を行った。

## 【結果および考察】

MGを知らない選手はなく、67%の選手が使用していた。MGの着用は、73%が試合・練習で必ず、18%が試合の時だけ着用と回答した。MGは89%を歯科医が製作しており、58%が満足、37%が多少不満もあるが使用上問題がないと回答した。使用していない選手の53%が、以

前使用したがやめたと回答した。気に入らない理由として呼吸しづらいが22%、しゃべれないが20%、気持ち悪くなるが14%と多かった。ラグビーをしているの負傷としては、「口の中や唇を切った」が63%から38%に、「歯が欠けたり折れた」が35%から13%に、「脳しんとう」が50%から42%に減少した。91%の選手がMGの必要性を認めていたが、製作希望者は84%であった。MGの効果としては、62%が力が入る、41%が脳しんとうが少ない、39%がケガが少ない、25%が頸部の予防が期待できると回答した。MGを作ってくれる歯科医を知っていたのは、60%であったが、その対価は、3,000円、5,000円が各々23%であり、次いで14%が10,000円と回答し、67%が5,000円以下であった。

## 参考文献

- 1) 洪里周作, 中北清吾, 添田義博, ほか: 高校生ラグビー選手へのマウスガードに関するアンケート調査, スポーツ歯誌, 10:96-100, 2007.
- 2) 添田義博, 中北清吾, 洪里周作, ほか: 平成18年度大阪府ラグビー・クラブチームBリーグ戦参加選手へのマウスガードに関するアンケート調査, スポーツ歯誌, 11:96-101, 2008.


第20回日本スポーツ歯科医学会総会・学術集会  
プログラム抄録集

---

発行日：平成21年7月3日

発行人：安井 利一

事務局：明海大学歯学部社会健康科学講座内  
第20回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会事務局  
〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1-1  
TEL:049-279-2786 FAX:049-286-2343  
E-mail:jasd20@dent.meikai.ac.jp

制作： 株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL:096-382-7793 FAX:096-386-2025

# 協贊企業



## 協賛企業一覧

アース製薬株式会社

(株)アルバスプラス<sup>+</sup>

(有)医学情報社

(有)グリーン工房

(株)ジーシー

(株)松風

(株)ゼロメディカル

日本メディカルテクノロジー株式会社

日本デンタルサプライ株式会社

ネオ製薬工業株式会社

(株)ビーブランド・メデイコーデンタル

(株)メルシー

(株)モリタ

(株)ヨシダ

ライオン株式会社

(有)ライテック

リンカイ株式会社

(株)YDM

(50音順)